

抗P/Q型電位依存性カルシウムチャンネル抗体 (抗P/Q型VGCC抗体)

ランバート・イートン筋無力症候群の診断・鑑別

監修

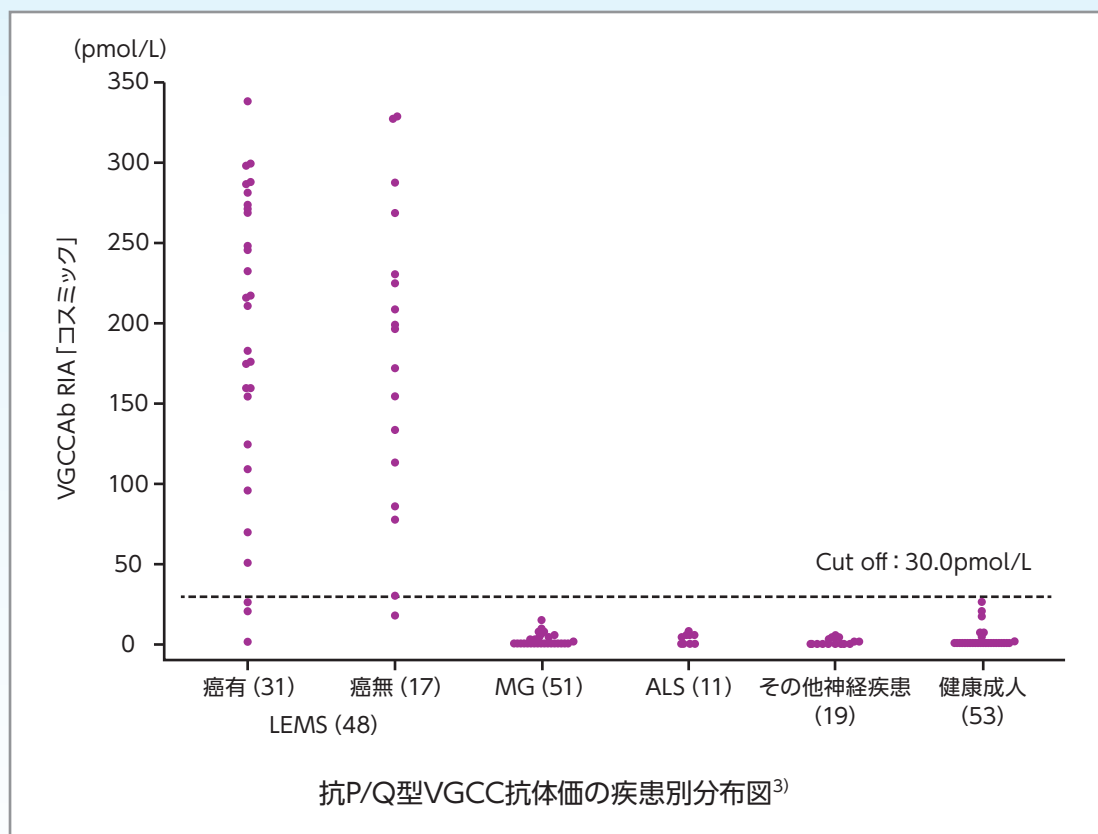
長崎総合科学大学
工学部 医療工学コース
教授 本村政勝 先生

LEMSと抗P/Q型VGCC抗体

ランバート・イートン筋無力症候群 (Lambert-Eaton Myasthenic Syndrome: LEMS) は、シナプス前終末に局在する活性帯からのアセチルコリン放出障害により、四肢筋力低下、腱反射低下、および、自律神経症状を呈する神経筋接合部・自律神経の自己免疫疾患です。

LEMSの自己抗体としては抗P/Q型VGCC抗体が最もよく知られています。その陽性率は85-95%と報告されています^{1, 2)}。

**LEMSを少しでも疑ったら抗P/Q型VGCC抗体測定をお願いします。
類似疾患の鑑別が可能です。**



1) Motomura M, et al. JNNP, 58 (1) :85-7, 1995

2) Lennon VA, et al. N Engl J Med, 332 (22) :1467-74, 1995

3) 本村政勝ら. 医学と薬学, 77 (7) :1057-63, 2020

ランバート・イートン筋無力症候群診断フロー

LEMS疑い

反復刺激誘発筋電図を行い、その後、抗P/Q型VGCC抗体測定※

LEMSと診断

腫瘍検索

※診療報酬D014 (43) 留意事項

本検査は、臨床症状によりLEMSが疑われる患者であって、反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認める患者を対象として実施した場合に限り算定できる。ただし、医学的な必要性から反復刺激誘発筋電図検査において異常所見を認めない患者を対象として実施する場合には、診療報酬明細書の摘要欄にその詳細な理由を記載すること。

なぜ腫瘍検索が必要なのでしょう？

LEMSは小細胞肺癌 (SCLC) を合併する (約60%) 傍腫瘍症候群です。ほとんどの場合、LEMS症状が悪性腫瘍発見に先行します。悪性腫瘍を早期発見、治療することで患者さんのQOLが守られます。

Nakao.Y.K, et al. Neurology, 59 (11) :1773-5, 2002

鑑別診断としてどんな疾患がありますか？

LEMSの鑑別診断としては、神経筋接合部疾患の重症筋無力症のほか、近位筋優位の筋力低下をきたす筋疾患 (多発筋炎、皮膚筋炎など)、急速に症状が進行した場合はGuillain-Barre症候群などの末梢神経疾患も対象です。

上野未貴ら. 医学のあゆみ, 255 (5):523-7, 2015

重症筋無力症との鑑別のポイントを教えてください

重症筋無力症 (MG) 患者では、主訴が複視や眼瞼下垂などの眼症状に対して、LEMS患者のほとんどは歩行障害を訴えます。さらには、MG患者では生じ得ない口腔内乾燥などの自律神経症状の有無も鑑別に役立ちます。

北之園寛子ら. BRAIN and NERVE, 70 (4):341-55, 2018

第60回日本神経学会イブニングセミナー

「P/Q型カルシウムチャンネル抗体とランバート・イートン筋無力症候群 (LEMS)」

演者：本村 政勝 先生 (長崎総合科学大学)

